

特別展

文人画家の 寄り道

— 文晁、華山と同好の士 —



竹翁と文晁の交遊
一筆一画に情をこめて
描かれたこの作品は
文晁の筆によるもので
華山の筆によるものと
比較すると、文晁の
筆はより力強く、
華山の筆はより繊細
であることがわかる。

令和8年
10.10^土 -
11.23^{月祝}

休館日 ▶ 月曜日（ただし、10月12日（月・祝）、11月23日（月・祝）は開館）

時 間 ▶ 9:00~16:30（観覧受付は16:00まで）

観覧料 ▶ 一般:600円 高校生・学生:300円、団体料金（20人以上）:一般400円／高校生・学生200円

常設展観覧料を含む

中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方（付添1人を含む）は無料

ただし、11月14日（土）県民の日は観覧料半額

「ぐるっとパス」で観覧できます。

※会期中に展示替を行います。

画像：谷文晁「東海道風景図巻」個人蔵／
金井高洋「諸友堂図」伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館蔵／
谷文晁「孔雀牡丹図」浄蓮寺蔵（群馬県指定重要文化財）／
源田山「竹園図」吉澤コレクション



埼玉県立
歴史と民俗の博物館
Saitama Prefectural Museum of History and Folklore

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219

電話／048-645-8171 FAX／048-640-1964 HP／<https://saitama-rekimin.spec.ed.jp/>



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっちゃん」



芸術文化振興基金



特別展 文人画家の 寄り道

～文晁、華山と同好の士～

記念講演会

文人画は中国から

日時 令和8年11月22日(日) 14:00～15:30
講師 伊藤 紫織氏(尚美学園大学教授)
会場 吾妻工業 講堂(当館講堂の愛称)
定員 150名
申込 電子申請又は往復はがき(定員を超えた場合は抽選)
申込期間 令和8年9月29日(火)～10月26日(月)
 はがき必着

江戸時代、中国の古典や絵画の影響を受け、関西で確立された文人画(南画)は、次第に関東にも伝わりました。

谷文晁(1763-1840)や渡辺華山(1793-1841)、彼らの師友であった文人画家は、関東各地をめぐり、各地に立ち寄っては地元の豪商や寺社、文化人の援助を受けたり、書画会や祝賀などの機会に書画を贈り合ったりして交流しました。

本展では、江戸時代中後期に関東で活躍した文人画家の足跡をたどり、書画を愛好した人々の文化交流を紹介します。

民俗工芸実演

掛軸の表具

日時 令和8年10月31日(土) 14:00～15:30
講師 江原 望氏(江原小林堂)、清水 徳夫氏(荒木表具店)
協力 埼玉県表具内装組合連合会
会場 吾妻工業 講堂(当館講堂の愛称)
優先観覧席 80席
優先観覧席申込 電子申請又は電話(先着順)
申込期間 令和8年9月29日(火) 9:00～



歴史民俗講座

文人の推し活

日時 令和8年10月24日(土) 14:00～15:30
講師 当館学芸員
会場 吾妻工業 講堂(当館講堂の愛称)
定員 150名 **申込** 電子申請又は電話(先着順)
申込期間 令和8年9月24日(木) 9:00～

展示解説

日時 10月12日(月・祝)、10月25日(日)、
 11月14日(土・県民の日)、11月23日(月・祝)
 13:30～14:00
会場 当館特別展示室
内容 展示全体の見どころを解説します
申込 不要

はじめて 山て 水の 画

日時 10月25日(日)、11月14日(土・県民の日)
 10:30～11:00
会場 当館特別展示室
内容 展示作品の中で特に
 山水画の見方を解説します
申込 不要

※関連事業の申込方法、詳細は
 当館ホームページをご覧ください。



次回展覧会

特別展「赤煉瓦と埼玉」
 令和9年3月13日(土)～5月5日(水・祝)



画像：谷文晁「東海道真景回巻」個人蔵／渡辺華山「立原翠軒像稿」田原市博物館蔵／春木南湖「山水図」当館蔵／
 渡辺華山「双雁図」龍泉寺蔵(埼玉県指定文化財)

主催／埼玉県立歴史と民俗の博物館

後援／朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、テレ玉、東京新聞さいたま支局、

日本経済新聞社さいたま支局、NHKさいたま放送局、毎日新聞さいたま支局、読売新聞さいたま支局、FM NACK5

交通機関／JR大宮駅から東武アーバンパークライン(野田線)大宮公園駅下車徒歩5分／駐車場台数(15台)に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。